

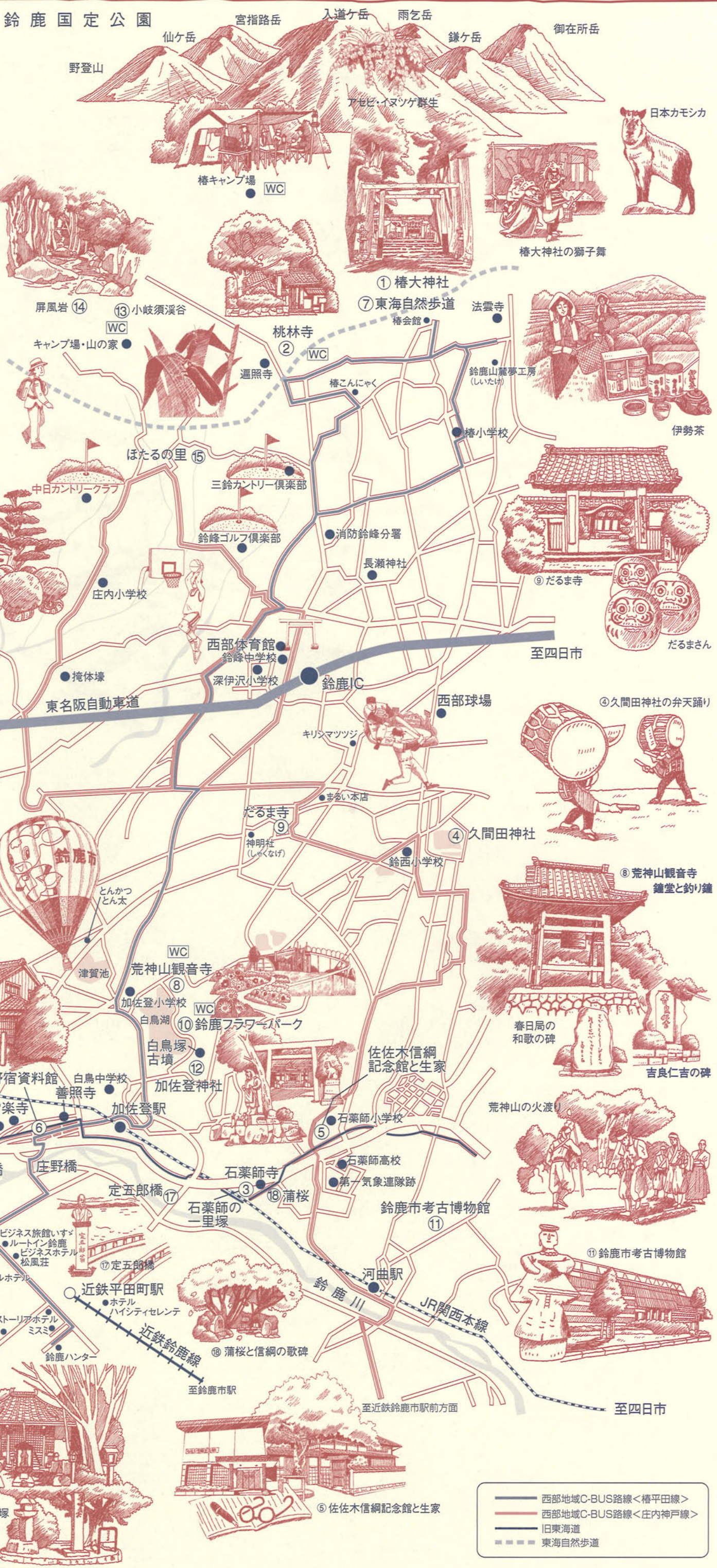
鈴鹿

西部

周辺

歩いてみよう

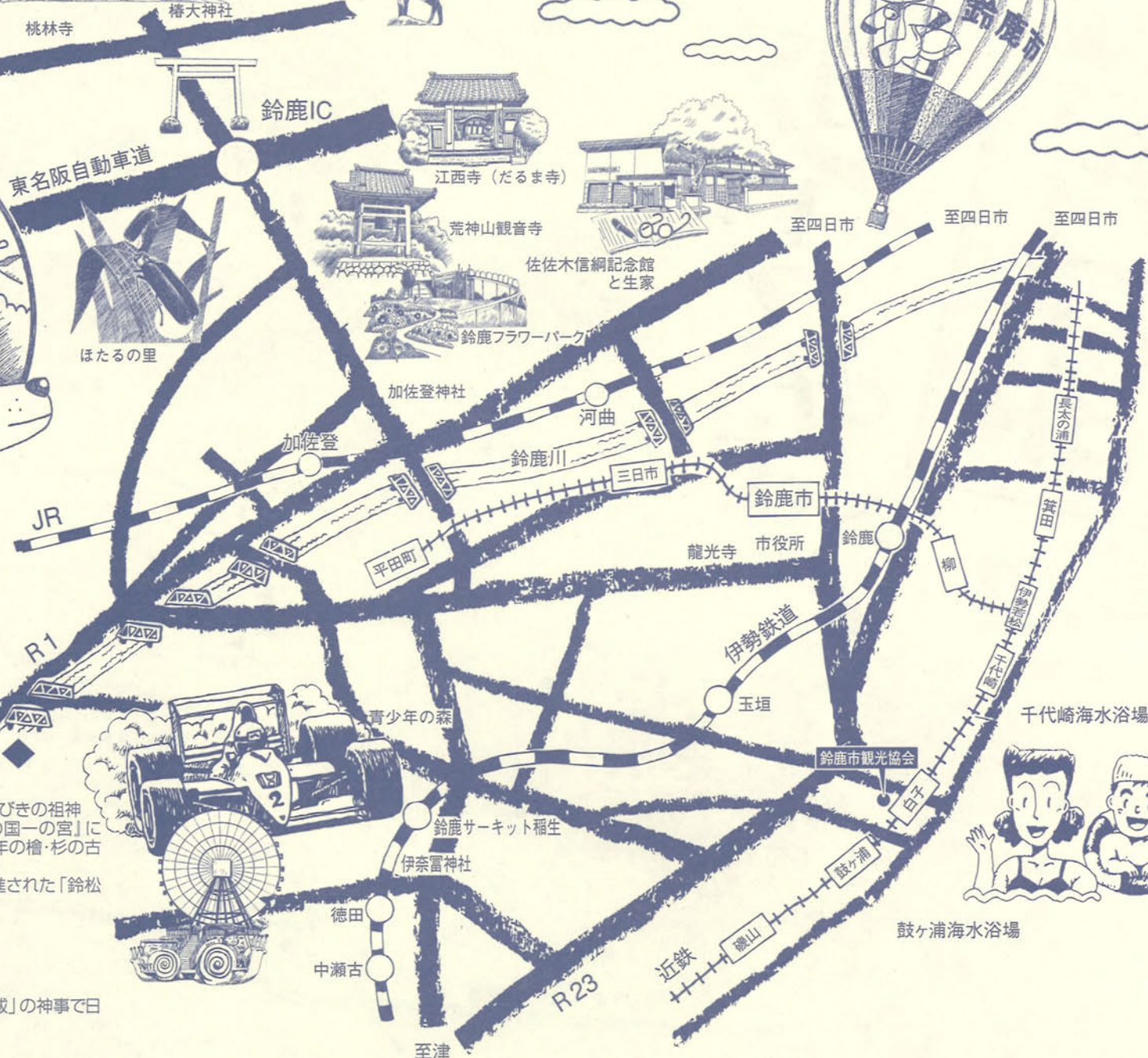
発行：鈴鹿市観光協会



～市の花 さつき～
 山地の渓流沿いに自生、または観賞用として栽培されるつつじ科の常緑低木。和名はサツキツツジで、旧暦の五月に咲くツツジという意味です。花は先が5弁に分かれ、色は紫紅色・紅・白・紅白の咲き分けなどがあり、6～7月頃に開花します。日本で江戸時代から園芸化され花の美しい品種が多く、盆栽や庭木として広く親しまれています。
 鈴鹿市では、花木の生産は代表的な産業であり、特に三重さつきで知られるさつきの生産量は、日本一を誇っています。



- 西部地域C-BUS路線<椿平田線>
- 西部地域C-BUS路線<庄内神戸線>
- 旧東海道
- 東海自然歩道



◆鈴鹿西部の見どころ◆

①(椿大神社) 鈴鹿山系の中央、入道ヶ岳の麓に鎮座し、みちびきの祖神「猿田彦大神」を祀る社の総本宮で、「伊勢の国一の宮」に定められています。参道の両側には樹齢数百年の檜・杉の古木が立ち並び、優し難い霊気に満ちています。また、故松下幸之助氏より日本庭園と共に寄進された「鈴松庵」も有名です。
・山本町1871番地 ☎371-1515
・C-BUS停「椿大神社」下車徒歩1分
・鈴鹿ICより車で10分

(獅子神御祈禱神事) 聖武天皇の勅願によって一層隆盛を極めた「祓」の神事で日本最古の獅子舞神事です。

②(桃林寺) 入道ヶ岳の麓にある「龍雲山桃林寺」は臨済宗東福寺派の禅寺で、海拔200mの山門からは鈴鹿の町並みと伊勢湾をとおして志摩半島、知多半島が一望でき絶景です。
精進料理あり。(要予約)
・小岐須町800番地 ☎371-0528
・C-BUS停「桃林寺」下車徒歩3分

③(石薬師寺と一里塚) 高富山石薬師寺といひ真言宗の寺院です。木立に囲まれた本堂は江戸初期の桃山様式で、神戸城主一柳直盛の再建によるといわれています。
・石薬師町1番地 ☎374-0394
・C-BUS停「佐佐木記念館」下車徒歩約5分

(一里塚) 県指定史跡。昔は櫻が植えられていたましたが、昭和34年伊勢湾台風で倒れ、当時の面影はありません。現在は「史跡石薬師の一里塚跡」の標柱が建てられています。
・上野町83番地

④(久間田神社の弁天踊り) 久間田地区の用水は「弁天池」から引かれています。住民の飲料水や、かんがい水として大切な水が溜めよう池の中に弁天様を祀り、祭りが始られたと伝承されています。若者が向かい合い、長さ75センチもの大太鼓を肩の上で振り回します。江戸中期からの伝統を持つ勇壮な祭りとして、現在も受け継がれています。

⑤(佐佐木信綱記念館と生家) 歌人で国文学者の信綱(1872~1963)は、弘綱を父としてこの地で生まれました。記念館には第1回文化勲章をはじめ多くの遺品、著書、原稿など2000点が収蔵されています。又、隣接地には、生まれてから5年間を過ごした生家があり、5月頃には、先生の作詞で「夏は来ぬ」(卯の花の匂う垣根にほととぎすはやも来鳴きてしのびねもらす夏は来ぬ)の「卯の花」が見られます。
<歌碑>
「目とづればここに家ありき奥の間の机のもとに常よりし父」
「ふるさとの鈴鹿の嶺の秋の雲あふぎつつ思ふ父とありし日を」
「傾けてバイクを駆れる群が行く鈴鹿の山は父祖のふるさと」幸綱
「これのふぐらよき文庫たれ故郷のさと人のために若人のために」
・石薬師町1707番3号 ☎374-3140
・C-BUS停「佐佐木記念館」下車徒歩約3分
・鈴鹿ICより車で15分

⑥(庄野宿資料館) 庄野町に残る膨大な宿場関係資料の活用を図り、併せて旧小林家(市指定文化財)の保存を進めるため主屋の一部を創建当時の姿に復元し、平成10年4月に庄野宿資料館として開館しました。館内には、庄野宿の本陣・脇本陣文書、宿場関係資料をはじめ、日本画で活躍された故小林彦三郎氏の絵画や文書のほか、地域に残る民具、農具、日用品等を展示しています。
・庄野町21番8号 ☎370-2555
・JR加佐登駅下車徒歩約10分
・C-BUS停「庄野下」下車徒歩1分
・鈴鹿ICより車で15分

⑦(東海自然歩道) 鈴鹿市内には四日市との境界である内部川から始まり亀山市に入る西庄内町までの9.9kmが通っています。休憩には導きの神・猿田彦神社の総本山「椿大神社」や、少し足を延ばせば伊勢湾を望むことができる「桃林寺」がお勧めです。春先には枝垂れ桜の「暹照寺」に寄るのもよいでしょう。また、椿大神社には宿泊施設(椿会館)のほか、「鳥めし」や椿の「こんにゃく」「草もち」も有名です。桃林寺では日本庭園を眺めながらの精進料理(要予約)を味わうこともできます。

⑧(荒神山観音寺) 「荒神山の喧嘩」で有名な、真言宗の荒神山観音寺。また、春日局が寄進したといわれる釣鐘があることで有名です。4月7日の春祭りには火渡りも行われ、多くの参拝者で賑わいます。
・高塚町1177番地 ☎379-0331
・C-BUS停「荒神山・鈴鹿フラワーパーク」下車徒歩1分
・鈴鹿ICより車で15分

(荒神山の火渡り) 火のついた薪の上を、裸足で火渡りし、厄除けと家内安全を祈ります。
《吉良仁吉の碑》 慶応2年神戸の長吉と桑名の穴太徳がなわ張り争いで、当山の裏山で約200人が入り乱れて死闘が繰り広げられました。吉良の仁吉と清水一家が長吉に加勢して大勝しましたが、仁吉は28歳の若さで凶弾に倒れた話は映画や浪曲で有名です。仁吉の碑は昭和26年浪曲師広沢虎造が建てたものです。

⑨(だるま寺) 通称「だるま寺」と呼ばれ親しまれている臨済宗金剛山江西禅寺。毎年2月11日に願いを込めてだるまの片眼を開け、願いのかんたたるまは、10月5日に消災大供養が行われその時に焚かれる「満願の火」は、縁起が良いとされ、多くの参拝者で賑わいます。
・深溝町1614番地 ☎374-2796
・C-BUS停「深伊沢地区市民センター」下車徒歩2分
・鈴鹿ICより車で10分

⑩(鈴鹿フラワーパーク) フラワーパークは、整備された花壇に植えられた四季折々のきれいな花々が迎えてくれます。子どもたちに大人気の約30mあるローラー滑り台があります。ピクニック広場もあるので、休日にはお弁当を持ってピクニック気分でお出かけのも楽しいです。
・加佐登町1690-1 ☎367-3455
・C-BUS停「荒神山・鈴鹿フラワーパーク」下車徒歩5分
・鈴鹿ICより車で約15分

⑪(鈴鹿市考古博物館) 鈴鹿市考古博物館は国史跡伊勢国分寺跡の隣接地にあり、奈良時代の寺院や役所に関する特色ある資料を中心に、展示を行っています。夏には水遊びや土器づくりなどの体験学習を通じて楽しく歴史を学ぶことができます。
・国分町224番地 ☎374-1994
・鈴鹿ICより車で約20分

⑫(加佐登神社) 日本武尊(ヤマトノミコ)を祭神とする加佐登神社。神社の北西には日本武尊のお墓といわれている白鳥塚古墳があり、日本武尊の霊が白鳥になって飛び去ったという伝説があります。境内は紫つじの名所。見頃は4月上旬。春祭は4月8日。
・加佐登町2010番地 ☎378-0950
・C-BUS停「加佐登神社」下車徒歩5分

⑬(小岐須渓谷) 鈴鹿川支流の御幣川が造りだした全長4kmに及び渓谷で、小岐須渓谷山の家付近の「鮎止の滝」を始め多くの滝が点在しています。夏には水遊びをする家族連れで賑わいます。
・C-BUS停「小岐須渓谷口」下車徒歩40分
・鈴鹿ICより車で20分

⑭(屏風岩) 屏風岩は御幣川の浸食作用によってできた高さ30m、長さ130mもある白色石灰岩の崖壁で、大理石の回廊のような独特の景観は県の天然記念物にも指定されています。吊り橋から見るのも、川床から見るのも素晴らしい景観です。

⑮(ほたるの里) 豊かな暮らしの反面、失われていく自然。ほたるもそのひとつです。西庄内地区では毎年6月頃多数のほたるが夜空に舞っています。

⑯(女人堤防) この辺りは鈴鹿川と支流安楽川の合流点で、たびたび氾濫して被害が大きくなり、文政12年頃、神戸藩に何度も修築を申し出たが許されず、女性たちが禁を犯し打ち首を覚悟で堤防を補強しました。女性たちは一旦は処刑場に送られましたが救急の早業で救われたといわれています。

⑰(定五郎橋) 前川定五郎は天保3年甲斐村の生まれで、甲斐の渡しを徒渉する通行人の苦渋を見て筏で渡す奉仕活動をし、65歳の時四つ乗り船を賃金で買取り通行人を救いました。同年、私財と寄付金で板橋を架橋しましたが、二旬を経ずして大雨で流失。再び寄付金と私財の全てを投じて2回目の架橋を行いました。更に本格的橋梁建設を行い、関係町村や役所に情熱を以て説き回り、明治41年11月の完成をみました。ときに定五郎77歳の時、定五郎橋と命名されました。

⑱(蒲桜) 寿永のころ蒲冠者で知られる源範頼が平家追討の軍をひきいて京都へ向う途中、石薬師如来に戦勝を祈願し、その際、鞭にしていた桜の枝を地面に挿し「我が願い叶いなば、汝地に生かよ」といい残して出発したといわれています。宇治川の合戦では見事勝利を治め、この鞭も芽をふいてきて枝を張り、春には美しい花を咲かせ蒲桜といわれるようになりました。鞭を地面にさかさに挿したことから「逆桜」とも言われています。なお、この蒲桜を詠じた佐佐木信綱の歌碑があります。

「ますらをの其名と、むる蒲さくら 更にかをらむ八千年の春に」

(伊勢茶) 千年の歴史を誇る鈴鹿のお茶。試行錯誤を繰り返した先人たちの努力が実り、県内随一の産地となりました。現在栽培されている品種は「やぶきた」が主流。鈴鹿をはじめ県内のお茶は、茶の上に覆いをかぶせる「かぶせ茶」に特色があり、上質で香味のあるお茶として広く愛好されています。

INFORMATION

- ・鈴鹿フラワーパーク管理事務所 ☎367-3455 【バス・C-BUS】
・庄野宿資料館 ☎370-2555 ・三重交通中勢営業所 ☎059-233-3501
・佐佐木信綱記念館 ☎374-3140 【タクシー】
・鈴鹿市考古博物館 ☎374-1994 ・近鉄タクシー ☎386-1161
・西部体育館 ☎371-1476 ・三交タクシー中部 ☎382-1381
・西部野球場 ☎374-3455 ・鈴鹿タクシー ☎378-0118
・西部テニスコート ☎374-3455 ・日の出タクシー ☎386-1256
・鈴鹿川河川緑地運動施設 ☎370-8099 ・ホンダタクシー ☎378-0346
・三重県花植木センター ☎370-4977 ・名鉄タクシー ☎384-5678
・椿渓谷キャンプ場 ☎371-0001 【鉄道】
・小岐須渓谷キャンプ場 ☎371-0001 ・伊勢鉄道 ☎383-2112
・小岐須渓谷山の家 ☎371-1910 ・近畿日本鉄道白子駅 ☎386-0024

【鈴鹿山溪観光協会】 ☎371-0001 〒519-0323 三重県鈴鹿市伊船町1009-5(鈴鹿市役所鈴峰地区市民センター内)

お問い合わせ
鈴鹿市観光協会 〒510-0241 三重県鈴鹿市白子駅前17-12
TEL059-380-5595 FAX059-380-5596
●鈴鹿市観光協会ホームページ http://www.kanko.suzuka.mie.jp/